



RISC-V Days Tokyo 2021 Spring

スポンサー企業 募集要項

RISC-V 協会

rev. 2021-2-4

1. RISC-V Days Tokyo の特徴

RISC-V Days Tokyoは、日本最大のRISC-Vのオンライン・ライブイベントです。プレゼンテーション、バーチャルデモブース、プレスカンファレンスのそれぞれを、オンラインにて実施いたします。RISC-V Days Tokyo では、RISC-V 関連の優れた技術や製品、そしてキーパーソンや技術者を一堂に集め、製品認知度の向上、企業間連携の実現、技術交流、情報収集などのビジネスチャンスを提供することを目的としています。昨年の Day Tokyo 2020 では、11カ国（日本、スエーデン、米国、台湾、仏、中国、露、英国、イス、ベトナム、デンマーク）から、延べ 1,053名の参加がありました。

2. 開催日

2021年 4月22日 (木) 9:00 ~ 17:00 JST (日本標準時間・GMT+9)

2021年 4月23日 (金) 9:00 ~ 17:00 JST (日本標準時間・GMT+9)

関連リンク

参加登録: TBD (peatix.com)

情報: TBD (<http://riscv-association.jp>)

Facebook: <https://www.facebook.com/riscv.a/>

Twitter: https://twitter.com/riscv_a

Meetup: TBD (<https://www.meetup.com/ja-JP/RISC-V-Group-Tokyo/>)

3. イベントの内容

本イベントは2日間にわたって開催され、好評を得た RISC-V Day Tokyo 2020 のフォーマットを踏襲し、技術プレゼンテーション・トラックと、スポンサー各社によるバーチャル・デモブース、またイベント前々日にプレスカンファレンス（オンライン記者会見）を実施する予定です。[RISC-V Day Tokyo 2020 のスケジュール](#)は[こちら](#)でご確認いただけますので、ご参考にしてください。

スポンサー企業様には、以下の露出の機会をご提供いたします。

- プrezentation・トークスロット（企業講演）
- バーチャル・デモブース
- プレスカンファレンス

3.1 プrezentation

スポンサシップの種類に応じて20~30分のトークスロットをご提供いたします。ご講演はリモートで行います。ご講演者は通常のブラウザから配信システムに接続し画像と音声を送信いただきます。配信にはプロフェッショナル・グレードの配信スタジオ・ソフトと高品質な配信で定評のあるVimeoのライブ配信サービスを利用します。講演を円滑に進めるため、2名の司会と2名のオペレーター、オーディエンスからの質問等の対応係2名、ライブ品質のモニタリング3名を配して、万全を期す計画です。

3.2 バーチャル・デモブース

バーチャルデモブースは、デモの様子をライブストリーミングにて一般公開する場です。デモ実演者に対する直接の質問や対話も可能で、参加者のみなさまに技術内容をより深く説明する絶好の機会です。バーチャルデモブースの配信自体は企業様ご自身でご提供いただきます。使い慣れたサービスをご利用ください。RISC-V Days Tokyoでは、各デモブースの内容をまとめたデモ紹介ページを用意し、参加者のみなさまにご案内いたします。またトークセッションの合間やプレスカンファレンスでのご紹介や誘導も行います。デモの説明ページからは、ご用意いただいたライブデモへの接続の他、デモ説明PDFのダウンロードやデモ・ムービーへのリンクもご紹介いたします。加えて、参加者が非公開で個別の質問を送れるよう「プライベート・メッセージ」の機能もご提供いたします。

3.3 プレスカンファレンス

イベント前々日に、プレスパケット、短いプレゼンテーション、質疑応答を配布できるバーチャル・プレスカンファレンスを計画しています。プラチナ、シルバースポンサ、および政府機関が参加することができます。詳細は別途プレスカンファレンスガイドをご参照ください。

4. スポンサ / 参加者 料金体系

スポンサ・コンタクト

齊藤 康幸 Email: yasuyuki.saito@swhwc.com Phone: +81-3-3833-3717

RISC-V協会 〒104-006 東京都中央区銀座 7-18-13-502

スポンサシップ料金体系

RISC-V Day Tokyo 2021 Spring 4/22-23 スпонサ料 米ドル立て			
スポンサシップ種類	プレゼン時間	商用スロット数	費用
プラチナ	30分	6	\$5,000
シルバー	20分	12	\$2,500
仮想デモブース・スポンサー	8時間 x 2日	24	\$1,500

RISC-V Day Tokyo 2021 Spring 4/22-23 スпонサ料 円立て			
スポンサシップ種類	プレゼン時間	商用スロット数	税込費用
プラチナ	30分	6	¥599,500
シルバー	20分	12	¥299,750
仮想デモブース・スポンサー	8時間 x 2日	24	¥179,850

一般参加者の参加費

RISC-V Day Tokyo 2021 Spring 4/22-23 参加登録料	
チケット種類	費用
一般	無料
学生	無料
参加登録 URL: 未定 (https://peatix.com/)	

5. スポンサーシップの詳細

参加者リスト共有

プラチナおよびシルバーのスポンサー企業様には参加者リストをご提供いたします。ただし欧州GDPRに準拠するため、参加者には、プラチナおよびシルバーのスポンサー企業とリストを共有する旨を事前に通知し、参加者はこの共有をオプトアウトできます。また、ご提供した参加者リストはスポンサー企業様社内でのご利用にとどめ、第3者との共有はご遠慮ください。

プラチナ・スポンサー

1. ロゴおよび会社紹介をウェブ、プレスアナウンスメントに掲載
2. 30分のライブトーク（プレゼンテーション）ビデオ配信（VimeoLiveによる）
3. プrezenテーション Q&A：Slack と Twitter を利用して行い、非参加者への露出にも配慮
4. 参加者リストの共有
5. ウェブサイトは最低18月間維持
6. ビデオはYoutubeにアップロードしRISC-V協会のチャンネルにも登録、リンクをウェブに配置
7. 公開プレスカンファレンスへの参加（プレスパケット配布、30秒のビデオ説明の機会）
8. バーチャル・デモブース（2デモ分）

シルバー・スポンサー

1. ロゴおよび会社紹介のウェブ、プレスアナウンスメントに掲載
2. 20分マルチトラックのライブトーク（プレゼンテーション）ビデオ配信（VimeoLiveによる）
3. プrezenテーション Q&A：Slack と Twitter を利用して行い、非参加者への露出にも配慮
4. 参加者リストの共有
5. ウェブサイトは最低18月間維持
6. ビデオはYoutubeにアップロードしRISC-V協会のチャンネルにも登録、リンクをウェブに配置
7. 公開プレスカンファレンスへの参加（プレスパケット配布、15秒のビデオ説明の機会）
8. バーチャル・デモブース（1デモ分）

仮想デモブース・スポンサー

1. ロゴおよび会社紹介のウェブ、プレスアナウンスメントに掲載
2. 仮想ブースは自社のビデオ配信、ウェビナーをお使いください
3. デモ Q&A：Slack と Twitter を利用して行い、非参加者への露出にも配慮
4. デモ説明 PDF 資料の配布、デモビデオの紹介
5. 企業コンタクトボタン・オプション（プライベート・メッセージ機能）
6. ウェブサイトは最低18月間維持

6. イベント実施方法の詳細

6.1 プrezentation

すでにオンライン会議をしている RISC-V International 企業会員からのフィードバックによると、物理会議（リアルの会議室・会場での会議、講演）では、発表者貢献で祭り的成功が期待できますが、オンライン会議では内容の具体性がより問われ、コンテンツ情報の有用性が必須となります。プレゼンテーションへの質問は、講演ごとに Hashtag を割り当て Slack と Twitter を介して行います。もしくは、講演者が Twitter のアカウントを用意し、そのアカウントに対して@で質問を受け付けることもできます。

1. Vimeo ライブを使いライブ配信をします（規模1,000人）
2. 各講演について、モレーティ、画面音声操作、ライブ Q&A モニタ・スタッフをご提供します
3. 観客の質問を仲介します
4. モレーティが発表者をゲストとしてインバイトし、ご紹介、プレゼン、Q&A の進行をします
5. 観客はライブコメントを入れることができます。配信観客数はライブ画面に表示されます

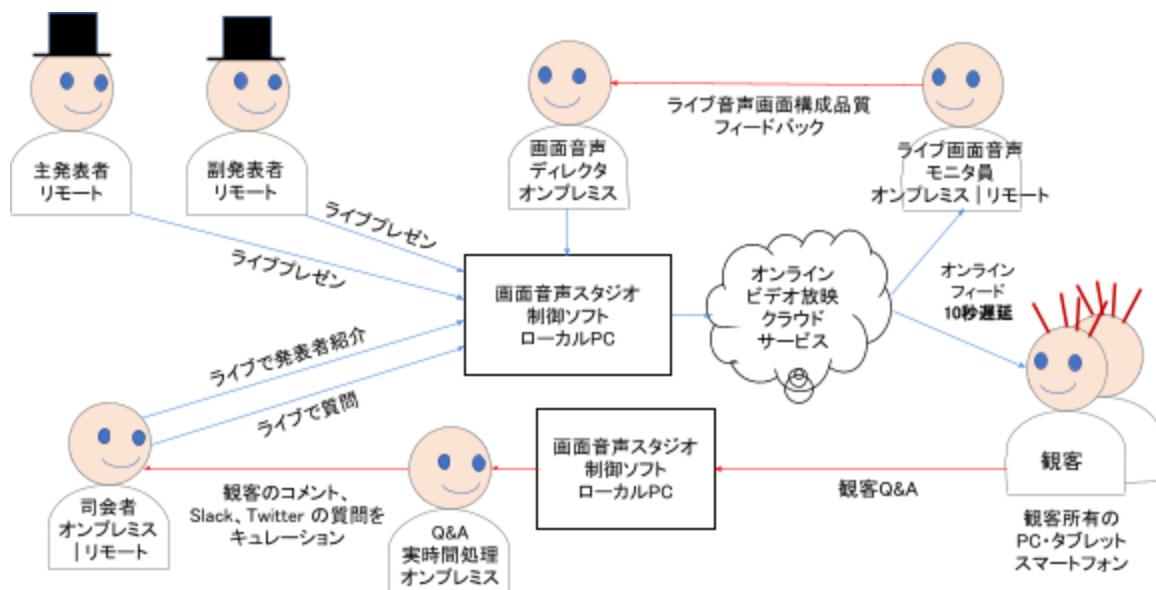


図1 オンラインライブ・運営体制

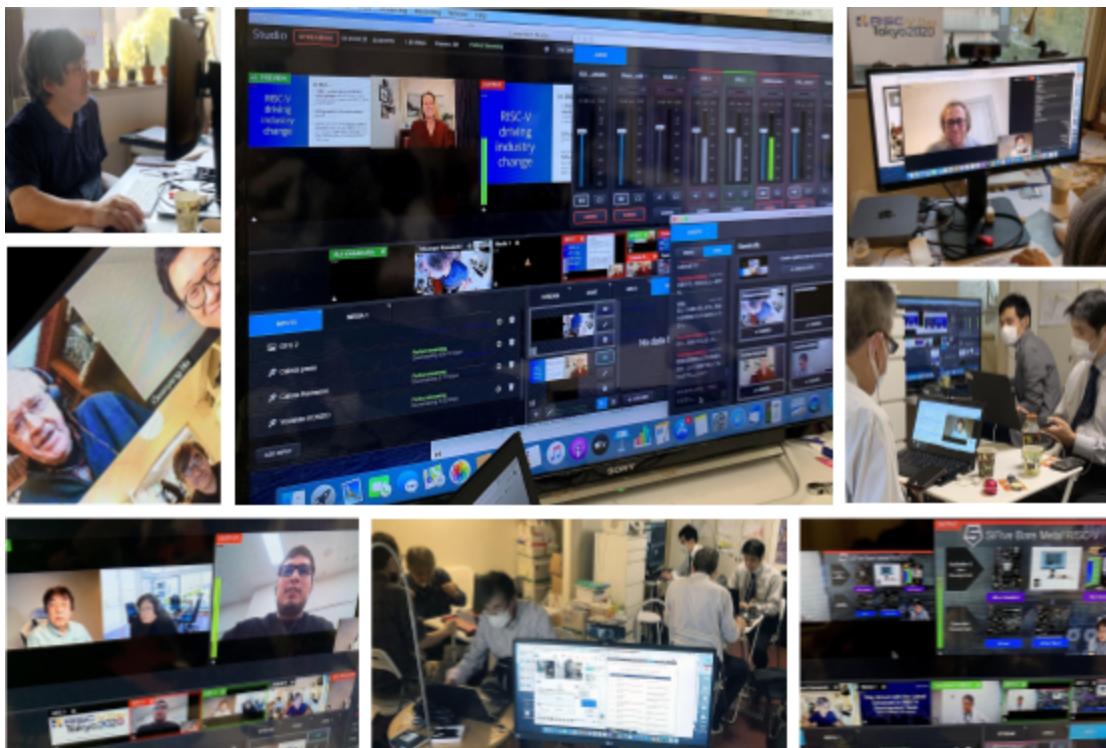


図2 オンプレミスのスタジオ風景（RISC-V Day Tokyo 2020 11/5-6 より）

6.2 バーチャル・デモブース

仮想デモブースは無償一般配信、事前宣伝をします。RISC-Vの商業活動を封鎖期間中も促進するためには、物理会議での重要な要素であった潜在顧客との個別会話をオンラインにても可能とします。デモ実施者は、自身の会社が提供するビデオ会議プラットフォームを使い、自社オフィスあるいは自社開発拠点から、カメラ、マイクロフォンを使い遠隔で実機デモを実施します。RISC-V Dayは、仮想デモブースのポータルサイトを提供し、デモを実施するビデオ会議への集客と誘導を行います。仮想デモブースは2つのチャンスを提供します。1つはパブリックなショーとオープンQ&Aのチャンス。もう1つは、プライベートな潜在顧客との会話をできるチャンスです。仮想デモブースポータルサイトを主催者側が作成し、デモとデモブースの運営は各社に委ねられています。仮想デモブースポータルの見栄えや模擬的な挙動は、Day Tokyo 2020 の仮想デモブースのポータルページでご確認ください：

<http://riscv-association.jp/riscv-day-tokyo-2020/virtual-booths-details#SHC>（なおデザイン等に多少の変更が入る可能性がある旨お含みおきください）。

仮想デモブースのポータルでは、（1）上部にデモタイトル、（2）ブロック図など、デモの概要を示す簡単な画像、（3）デモ説明、（4）参加者をRISC-V製品サプライヤーのウェビナーウィンドウに案内する「ライブデモ」ボタン、（5）参加者がデモを説明するRISC-V製品サプライヤーのPDF資料をダウンロードできる「デモPDF」ボタン。（6）「プライベート・トーク」ボタンを使用すると、参加者はRISC-V製品サプライヤーにプライベートメールを送信できます。



図3 バーチャルデモブースのポータルページ例

7. イベントの背景情報

RISC-V Day Tokyo 2020 のスポンサー企業



参加登録料推移

参加者登録料 推移			
Year	Place	Attendees	Cost
2017 Tokyo	Ito Hall, Central Tokyo	218	4,500 JPY
2018 Tokyo	Fujiwara Hall, Kanagawa	180	4,000 JPY
2018 Fukuoka	IEEE, Westin Hotel, Fukuoka	140	IEEE Fee
2019 Tokyo	Hitachi Baba Hall	360 (sold out)	4,000 JPY
2020 Vietnam	Online	140	100,000 Dong
2020 Tokyo	Online	1,053	無料

RISC-V 書籍翻訳

RISC-V関連 翻訳書籍と会場販売の経緯			
Year	書籍翻訳例	著者	価格
2018 Tokyo	RISC-V原典 和訳（参加者に無料配布）	ウォーターマン パターソン	3,240円
2019 Tokyo	定量的アプローチRISC-V版 日本語 翻訳	ヘネシー パターソン	8,000円

2020 Vietnam	Digital Design with Chisel 英語版PDFウェブ配布・関連講演	マーティン ショーベール	無償
2020 Tokyo	Chiselによるデジタル設計 日本語訳 PDF版をウェブ無料配布	マーティン ショーベール	無償



RISC-V Day の実績

RISC-V Day は、RISC-V サプライヤの技術PRとRISC-V研究発表の場です。IoT応用、AI応用などの分野での、RISC-V関連の優れた技術や製品、そしてキーパーソンや技術者を一堂に集め、製品認知度の向上、企業間連携の実現、技術交流、情報収集などのビジネスチャンスを提供することを目的としています。

RISC-V Day Tokyo は、2017年にRISC-V International（当時のRISC-V Foundation）の依頼で東大伊藤謝恩ホール、2018年は慶應大学日吉の藤原洋記念ホールとIEEE福岡で、2019年には日立製作所の日立馬場記念ホール（定員360人）で開催しました。2020年の開催は、COVID-19の影響で、当初会場としていた大手町日経ホール（定員620人）をキャンセルし、初のオンライン開催となりました。2日間の開催で、11カ国から延べ 1,053名の参加がありました。

2021年RISC-V Days 重点領域

2014年からわずか5年で、RISC-Vは、複数の5Gモバイル ベースバンド チップに採用され、台湾韓国中国のウエアラブルを制覇、車載分野、サーバ、HPC分野に進出しつつあります。ハードウエアの研究領域を大きく拡げました。2021年のRISC-V Daysのテーマは「5Gモバイル、ウエアラブル、車載分野、サーバHPC分野におけるRISC-V、拡大する研究領域 と ポスト5G時代の応用展開」としました。RISC-Vを推進するアジア太平洋地域(APAC)のエンジニアがRISC-Vにローカルに貢献します。2021年度も、ベトナムのローカルエンジニア組織とも協力し、新しい試みをとりいれつつ会議開催を進めます。

2020年10大RISC-Vニュース

RISC-Vは、IPとして軽量契約で実装ができ、ソフトサポートが完備しているため、2014年からたったの5年間でCPUハードウェアの地図を塗り替えました。2020年度のRISC-V 10大ニュースは：

1. VDC Researchが2018-2023年にRISC-V出荷数量は年率38%で増加と推定
<https://www.vdcresearch.com/images/pr/2020/march/RISC-V-03-30-20.html>
2. Linux PCがRISC-Vベースで作れる開発ボードを、SiFiveが発表
<https://xtech.nikkei.com/atcl/nxt/news/18/09109/>
3. ルネサスがRISC-V搭載ASSPの開発に向けて、RISC-V 32ビットCPUコアを採用
<https://www.renesas.com/jp/ja/about/press-room/renesas-selects-andes-risc-v-32-bit-cpu-cores-it-s-first-risc-v-implementation-assps>
4. サムスンモバイルが「5G」ベースバンドにRISC-V搭載したハンドセットを出荷開始
<https://defence.pk/pdf/threads/samsung-to-use-pakistan-origin-sifive-risc-v-cores-for-socs-automatic-5g-applications.679010/>
5. RISC-Vフラッシュマイコンが欧州Embedded World組込賞ハードウェア部門で優勝受賞
https://www.embedded-world.de/en/news/press-releases/winner-embedded-awards-0dhccwe30m_pireport
6. RISC-V Internationalのグローバルメンバーシップが前年度の2倍以上の会員数1000を突破
<https://riscv.org/announcements/2020/12/risc-v-international-reports-another-strong-year-of-growth-with-new-technical-milestones-educational-programs-risc-v-adoption-and-more/>
7. 世界初のオープンソースプロセス設計ツール（PDK）をGoogleがRISC-Vを使いリリース
<https://chipsalliance.org/blog/2020/06/29/open-source-process-design-kit-from-google-skywater-technologies-and-partners-released/>
8. nVidiaによるARM買収でRISC-V採用が加速
<https://www.itmedia.co.jp/news/articles/2010/12/news069.html>
9. 人工知能（AI）、機械学習（ML）、深層学習（DL）アプリのRISC-Vソリューションが続出
<https://www.microcontrollertips.com/risc-v-artificial-intelligence-machine-learning-embedded-systems-faq/>
10. RISC-Vを基盤技術とする技術研究組合が経産省主導で続々結成
<https://iotnews.jp/archives/157568>

END OF DOCUMENT